

デザイン

応募点数	38点	招待作品	20点
入賞点数	7点	展示点数	58点
入選点数	31点	◎は移動展出品作品	

(総評) 第54回の県展は昨年に引き続き新型コロナウイルスの感染予防に傾注し、県立美術館のリニューアル工事に伴い昔懐かしい県民会館で実施される事となりました。

このようなことで、ここ数十年間で異例の開催となった訳ですが、県民及び県行政の細かな配慮により実にまとまった展覧会が展開されることになったと思います。

デザインの応募状況も順調でした。作品は自由部門に偏ったものの、テーマ部門5点を加え38点で例年の点数でした。例年のコンスタントな点数はデザインへの関心がある程度の水準を示していると言えるのではないのでしょうか。

次に応募者の年齢と地域を調べてみました。地域については出雲と松江が約7割を占め、残り地域も2割強は出雲部でした。デザインの仕事や学校等がデザインの性格上、都市部に集中すると思えるのですが、趣味としてのデザイン表現は幅広い地域に育つと思えます。一方、応募者の年齢を調べてみると10 20 30代という若人が7割を占め、40代や50代が凡そ2割、60代以上高齢者の挑戦も1割程が見られます。応募者の層として将来に期待が持てる若人が断然中に、高齢者も加わる理想的な状況が見られました。

応募者年齢の若さは作品にも影響があります。作品は、グラフィックデザイン作品では一番大きい部類に入るB1の大きさがほとんどでして、制作への勢いが感じられます。加えて、従来のデザインスタイルにこだわらない、柔軟性のある独特のアイデアで新鮮な楽しさを感じる作品も見られました。手描き時代でなくコンピュータの時代も感じる応募状況でした。

デザイン作品は強くアピールするものをもたなくてはならないと思います。アピールのための要素は「形の構成」「配色」「表現技術」が美しいことにあると思います。

しかし、最も大切なのは「強烈な独創的アイデア」ではないのでしょうか。若い方々が基礎を大事にしながら、個性的なデザインで県のデザイン界を引っばってほしいと願っています。(文責 寺尾 堂)

知事賞 ◎

めせん 目線

いわなりひろゆき
岩成浩行(松江市)

数百匹のさるを緻密に描いた作品。よく観ると横向きや後ろ向きのさる、笑っているさるなど様々な表情を見せている。多数のさるの視線を感じながら、鑑賞者は見られるということの不安感の中で無意識のうちに自分自身を見直す気持ちにさせてくれる。

注目すべきは画面構成の秀逸さである。上部と下部の余白を生かし作品としての質を高めている。とくに足もとの余白の入れ方は画面全体を引き締めデザインとしての効果が十分に発揮されている。この勢いでさらに進んでいただきたい。

(文責 近藤 隆)

金賞 ④

風土記コスメ KUNIZUKURI 中川 絵莉子 (松江市)

島根の風土記にある装飾品をモチーフにした化粧品を構想した、緑を基調に展開したポスターで、パッと見は実際に容器等作ってると思われたのですが、良く見ると描いてありました。実際にプロとして仕事をしておられると思われそうですが、右群と左群の容器どちらか配色を考えた方が良くかと思われます。コピーも黒色にした方が良くか。しかし画面の構成はバランス良く配置されていて見やすいです。アイデアも良く考えられたものだと感心させられます。実際の使用感はともかくタイトル、アイテム、コピーのバラつきなく、文字群は文字群でまとめて表現してあり、美しい、女性らしい作品です。(文責 平江 透)

銀賞 ④

万彩の忍 田中 千智 (松江市)

本当は小さなリーフィードドラゴンが、巨大な怪獣のように描かれている。立体感を絵の具を塗り重ねることで強調して、迫力ある表現になっている。

また、背景の水草や海藻を花札を参考にしているアイデアが面白い。黒一色で背景を塗ると、黒が強すぎるため、私は他の色を混ぜて黒を塗る。だが、作者は伝統的な様式を取り入れて、魅力的な画面を作ることに成功している。(文責 春日 謙一)

銀賞 ④

また来たくなる島根 磯橋 菜実 (出雲市)

曇天が多い島根ですが、全体の雰囲気を決定づける空の色が美しい夕暮れ時を予感させ、淡い暖色系の色調であることも島根を穏やかな優しい土地として印象付けています。

最初に目に入るSHIMANEの文字は、題名の通り「また来たくなる島根」を入れて考えた方が良かったのではないのでしょうか。今後は、画面の中の文字の配置やスペースの使い方を更に探求して欲しいと思います。

単純化された形体や意図的に不明瞭にした輪郭線は、新たな島根を発見して欲しいという願いが込められているようにも感じます。

「リアルな世界より一枚の絵葉書のようなデザインにしたい」という作者の意図は、十分に伝わったのではないのでしょうか。(文責 内田 京子)

銅賞 ④

焦がし絵「つまり、心騒ぎ」 森下 美津子 (松江市)

焼きごてで木を焦がして明暗をつける、ウッドバーニングという手法で制作された作品。

繊細なタッチでの写実的な表現に、技術の高さを感じます。不安や羞恥といった感覚が渦のような不安定な模様で見事に表現されており、木の板の木目とも相まって人物の感情を引き立てています。

全体として、時間をかけた手仕事の温かさも感じられ、人物の「心騒ぎ」を生々しく表現しているように思います。(文責 代高田由梨)

銅賞 ④

しょうけい
憧憬

はら 香織 (松江市)

飛べない鳥たちの後ろ姿が、とても可愛い。皆コロコロ太っていて、空を飛ぶにはダイエットが必要かも？

そして、「……ちょっとしか。」という負け惜しみのコピーライトがまた可愛い。

空を広くとった画面構成といい、色づかいといい、作者は見る人が「可愛い！」と思うポイントを的確におさえている。

あざといほど可愛い作品である。(文責 春日 謙一)

銅賞 ④

IRODORI SHIMANE

かじの 梶野 穂 (松江市)

しまねの魅力が12枚の色彩豊かなイラストで表現されている洗練されたグラフィック作品。デジタルイラストではあるが、暖かみのある彩色、曲線で柔らかく表現された形は、しまねのゆったりと流れる時間を思わせる。

レイアウトに大胆さはないが、文字とイラストの配置を合わせるなど、誰でも分かりやすく工夫されている。

1枚のポスターではあるが、四季折々の場面もあり、カレンダーやポストカードなど多様な展開を期待してしまう。次を想像させる作者の^{うま}巧さ、今後も磨き、更に輝いていただきたい。(文責 秋國 紋子)

入選

題名	氏名	備考
笛棚と神楽笛 (8穴6穴使い)	日野 建一 (出雲市)	
お花・桜	坂本 美穂 (出雲市)	
伝えられなかった思い・・・	梶 明広 (浜田市)	
④ Hello!目人間一目人間のTシャツ屋さんー	江角 奈美 (出雲市)	島根デザイン連盟奨励賞
水草と金魚	辻井 志貴子 (出雲市)	
祈り	山崎 智美 (大田市)	
森の星	貝谷 久美子 (美郷町)	
転機	関 のぞみ (鳥取県)	
生生[SEI TO NAMA]	引野 菜月 (松江市)	
雲外蒼天	奥原 早紀 (松江市)	
頭かくして尻かくサンド	山崎 絵里 (松江市)	島根デザイン連盟奨励賞
苺はいかが？	梶谷 大樹 (大田市)	
Burning up!	小村 貴弘 (出雲市)	

題名	氏名	備考
妄想海路	勝田優介(松江市)	
着座するマスクをした女性~魂と記号との融合~	福島 蕾(安来市)	
安らぎの時間	はやし まりこ(松江市)	
焼き芋	NAJCHEVSKA RUMENA(松江市)	
SHIMANE VIEW	AFSAR AZAD(松江市)	
輝	清水 萌音(松江市)	
やっと会えたね!	前迫 ひとみ(松江市)	
ブラック?	西村 仁伸(松江市)	
おとぎ話のねずみ	加藤 佳朋(松江市)	
私の居場所	池田 陸翔(安来市)	
銀の海	内藤 愛兼(大田市)	
瓦礫から出づる命	森 脇 玄太(浜田市)	
Let's go find!	小谷 朋美(松江市)	
⑩ 国引き神話	嘉本 光留(出雲市)	島根デザイン連盟奨励賞
ここにいます	さか さび(松江市)	
八雲立つ須我神社	宮廻 知弥(出雲市)	島根デザイン連盟奨励賞
いなさのはま	福田 裕貴(出雲市)	
日御碕灯台と一緒に	杉原 純心(雲南市)	

招待

題名	氏名	備考
Quintet	石野 眞(松江市)	
⑩ MUSHI-4	寺尾 堂(益田市)	
ノウ・ザ・タイム	近藤 隆(安来市)	
イラストレーション	遠藤 毅(雲南市)	
呼応	小原 恭子(松江市)	
⑩ 白菜の独り言	内田 京子(奥出雲町)	
⑩ 百歌花暦-木蓮-	奥 美奈子(大田市)	
地面効果翼機MA-OXI	春日 謙一(松江市)	
underground	錦 織秀行(雲南市)	
Calligraphy	野々内 政美(松江市)	
笑うカンコーT Kwaidan IYAKUMO	平江 透(松江市)	
笑うカンコーT YALISUGIBUCI アラエッサッカー	平江 透(松江市)	
ネット依存の闇	秋國 紋子(出雲市)	
Faraway	品川 良樹(松江市)	
Sea Water	柳 楽武臣(出雲市)	
⑩ MADOROMI	原 真人(松江市)	
花束	稲田 通子(松江市)	
再会	A k u t o(鳥取県)	
⑩ 2021見る見るじっと見る「Take a closer look at 2021」	玉木 喜久代(出雲市)	
涙ノ向コウ	吉岡 さつき(安来市)	